

グリーン購入行動における集団の影響

準拠集団としてのグリーンコンシューマーグループと年齢集団を中心に

○馬源¹・上市秀雄²¹筑波大学大学院システム情報工学研究群・²筑波大学システム情報系

s2530124@u.tsukuba.ac.jp



筑波大学

University of Tsukuba

背景

● 環境問題の深刻化とグリーン購入行動への注目

- 資源の無駄遣いや地球温暖化などの環境問題が深刻化する中、温室効果ガスの排出量は約70%が**消費活動**に起因していることが示されて、個人の消費行動が環境に大きな影響を与えることが指摘されてきた (Dubois et al., 2019)。
- 消費者個人の行動が環境に与える影響への関心が高まる中で、「**グリーン購入行動**」という概念が提唱された。
- グリーン購入行動**は消費者が環境保護意識や個人価値観に基づいて、環境に優しい製品を選択・購入する行動パターンを指す。

● 態度 - 行動ギャップ

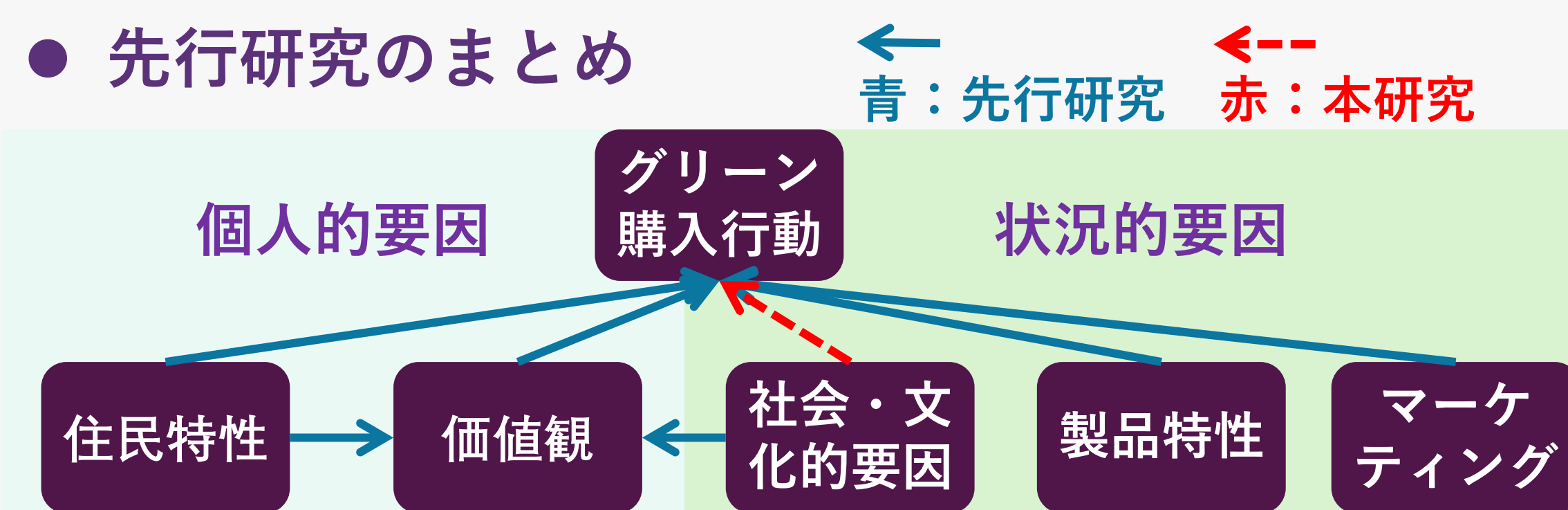
- グリーン購入行動に関する政策や広報活動によって、消費者の環境保護に対する関心と責任は高まっているものの、実際に環境に配慮した行動をしている消費者は少ない。

『2022年市民生態環境行動調査報告』

→「環境保護に関心がある」と回答した方：**88.2%**3年間で**21.3%**の増加→「グリーン購入経験がある」と回答した方：**49.2%**3年間で約**10%**しか増加していない

目的

● 先行研究のまとめ



- 社会・文化的要因はグリーン購入行動への**直接的影響**は十分に明らかにされていない。
- 社会・文化的要因は媒介因子として「態度-行動ギャップ」を埋める可能性がある。

● 研究目的

- 社会・文化的要因として2つの**集団**を取り上げ、グリーン購入行動への**直接的な影響**を検証する。
- 集団**が、環境態度とグリーン購入行動の間で**媒介的な役割**を果たすことを明らかにする。

■ 調査対象：18歳から70歳までの中国消費者360名**■ 調査方法**：2024年11月中旬に、オンライン上でアンケート調査を実施した。

方法

■ 調査項目：5段階リッカート尺度を用いて、以下の五つの項目について調査した。**● 基本属性** (4項目) 年齢, 性別, 学歴, 可処分所得**● 環境態度** (2項目) 環境に対する関心と責任感の自覚

環境関心：「汚染は人間の生存を脅かしていると思う」…

環境責任感：「無駄遣いを減らすことは誰もが守るべき義務だと思う」…

● 準拠集団 (4項目) 憧れ, 基準となる枠組みを提供する集団に対する認知や態度, 自己との関連性の認識の程度 (Barbarossa & De, 2016)

*本研究はグリーンコンシューマーグループを準拠集団とする。

帰属意識：「グリーンコンシューマーとして知りたいと思う」…

アイデンティティ感覚：「グリーンコンシューマーは通常より多くの費用を支払ってもよいと思う」…

一貫性：「私はグリーン購入によって環境保護への態度を示している」…

実効性：「グリーンコンシューマーは環境に対して積極的な影響を及ぼすと思う」…

● 年齢集団 (4項目) 同齢者に対する認知, 行動予測およびそれに基づく自身の調整

群集心理：「多くの人が選んだものを選ぶことは正しいと思う」…

集団期待：「「年齢に応じたことをするべきだ」という考えに同意する」…

同調圧力：「同齢者の選択に合わせて、自分の購買行動を調整する」…

予想：「多数の同齢者は環境に優しい製品により多くのお金を支払う意欲がある」…

● グリーン購入行動 (2項目) 消費者のグリーン購入経験と具体的な製品に対する支払意欲額

購入経験：「天然成分の日用品を意識して購入したことがある」…

支払意欲額：「以下の有機野菜に対して、支払っても良いと考える最大の価格は」…

結果

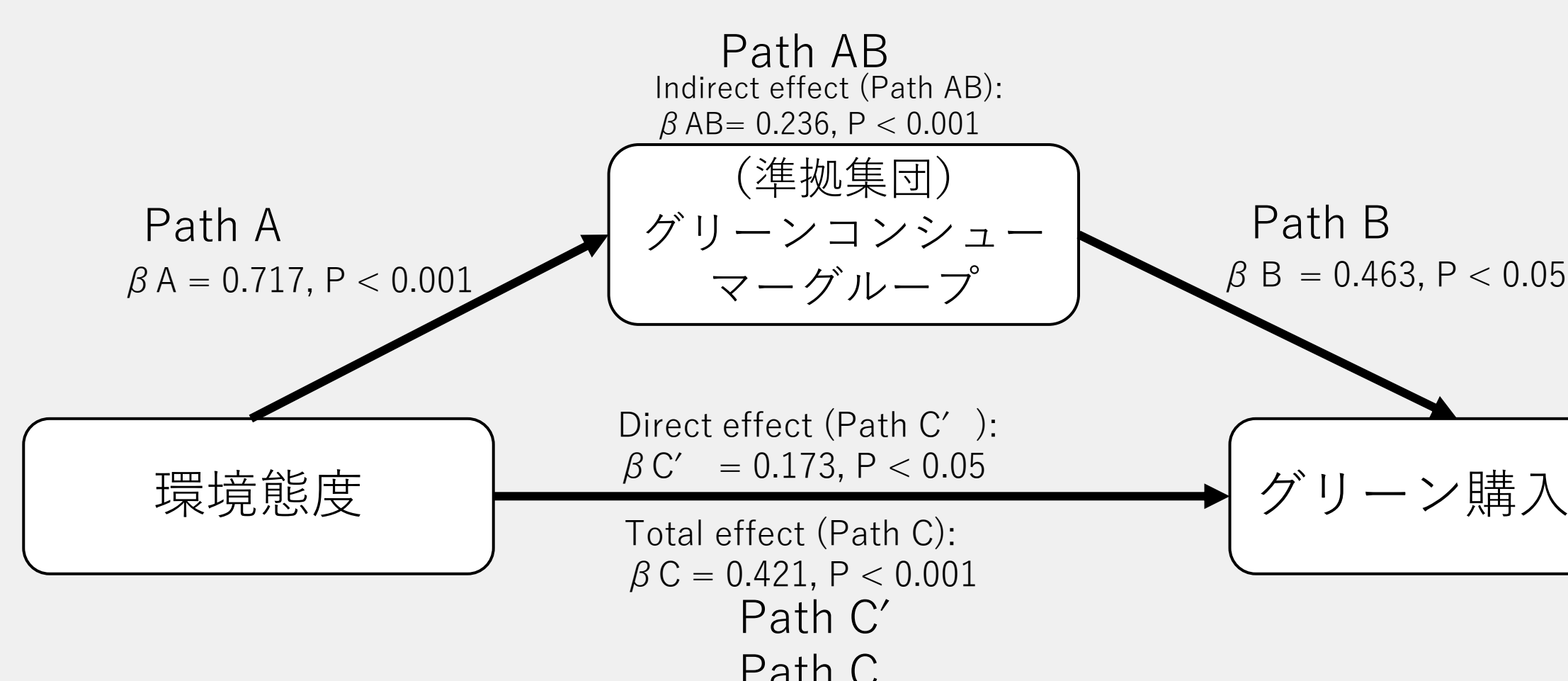
表1 グリーン購入行動の影響要因

項目	MEAN	SD	Cronbach's α	グリーン購入行動	環境態度	準拠集団	年齢集団
グリーン購入行動	2.778	0.680	0.788	1			
環境態度	4.123	0.621	0.825	.332***	1		
準拠集団	3.752	0.528	0.838	.319***	.645***	1	
年齢集団	3.165	0.469	0.839	-.017	.245***	.413***	1

* $p < .05$, ** $p < .01$, *** $p < .001$

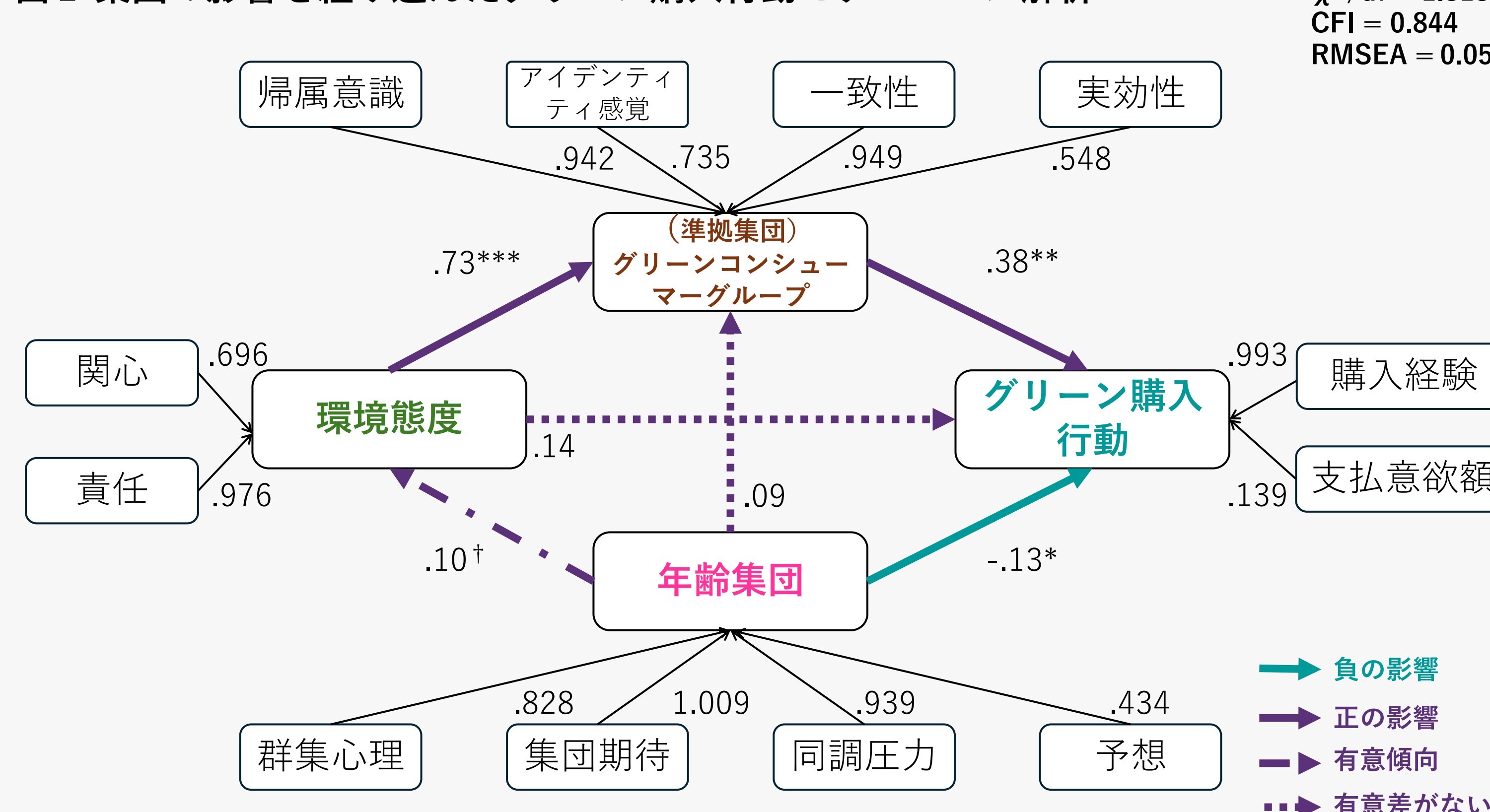
準拠集団、環境態度はグリーン購入行動と正の相関を示した。年齢集団とグリーン購入行動には有意な相関が認められなかった。

図2 グリーンコンシューマーグループ (準拠集団) の媒介作用



環境態度はグリーンコンシューマーグループ (準拠集団) を介して、グリーン購入行動に正の間接効果を与えることが示された。準拠集団の影響を通じて、環境に対する態度が行動へと転換されるプロセスが明らかになった。

図1 集団の影響を組み込んだグリーン購入行動モデル：パス解析

* $p < .1$, * $p < .05$, ** $p < .01$, *** $p < .001$

準拠集団はグリーン購入行動に直接的な正の影響を与えている。環境態度がグリーン購入行動に与える直接的影響は準拠集団の介入によって統計的に有意ではなかった。つまり、準拠集団を介して間接的にグリーン購入行動に影響を与えた。年齢集団はグリーン購入行動に対して負の有意傾向を示した。それはコントロール変数として年齢を加えた結果だと考えてられる。

まとめ：

- 準拠集団の正の媒介効果によって、消費者は象徴的・憧れや模倣の対象となる集団の影響を受けて、環境保護態度から行動へ変容する傾向が示唆された。
- 年齢集団は環境態度の差異、集団認知の形成への影響について、年齢別でも検討する必要がある。

参考文献：

Barbarossa, C., & De Pelsmacker, P. (2016). Positive and negative antecedents of purchasing eco-friendly products: A comparison between green and non-green consumers. *Journal of Business Ethics*, 134(2), 229-247.Dubois, G., et al.(2019). It starts at home? Climate policies targeting household consumption and behavioral decisions are key to low-carbon futures. *Energy Research & Social Science*, 52, 144-158.